

TAMIYA GRAND PRIX

タミヤ主催イベントでは、T3-01シャーシ(ダンシングライダー)とキット標準370タイプモーターの組合せの際の上限回転数を以下の通りに決めさせていただきます。製品の特性上、従来までのモーター単体での計測方法ではなく、タイヤの回転数による計測といたしますので、ご注意下さい。

☆上限回転数☆

●370タイプモーター(T3-01シャーシ) : 最大回転数 1,680 rpm まで(タイヤ回転数)

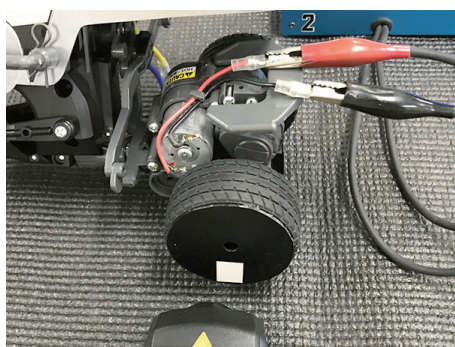
上記数値は現行販売品において、製品個体差等も勘案し、通常使用状態で超える事の無い数値で設定しております。過度な慣らしや過走行等による回転数上昇については考慮しておりません。

☆計測方法☆

T3-01シャーシでは、従来までのモーター単体の計測方法ではなく、タイヤの回転数による計測を行わせて頂きます。これはT3-01シャーシのピニオンギヤが圧入タイプでの固定方法であるため、繰り返しの着脱行為は、製品本来の機能を、十分に発揮できなくなる可能性があると考えられるため、このような対応といたします。



- 計測機器一式
- ・モーターチェッカー
- ・安定化電源(モーターチェッカー用)
- ・非接触型回転計
- ・計測用タイヤ・ホイール



- 計測用のタイヤ・ホイールを装着し、モーターの端子をモーターチェッカーに接続します。
※反対側のタイヤ・ホイールの取外しは行いません。キット付属のスタンドを使用します。



- モーターチェッカーの【モーターラン 7.2V】にて、無負荷状態で15秒間程度空転させ、非接触型回転計にてタイヤ・ホイールの最高回転数を計測します。

☆その他☆

- ・各レースにて、上位ゴール選手を対象として計測させていただきます。また、それ以外の場合でも随時計測させて頂く場合があります。
- ・イベント進行上の都合から、スタッフが脱着、計測を行わせて頂く場合があります。予めご了承下さい。
- ・モーターの端子はキット標準のギボシ状態か、各種端子に交換する場合は、計測しやすい状態に変更して頂けるように皆様のご協力をお願いいたします。
- ・モーターの加工は禁止です。モーターマグネットを移動させる行為等は加工に該当し、失格・タイム抹消の対象となりますので十分にご注意下さい。
- ・フルベアリング装着状態を想定し、上限数値を設定しております。
- ・会場内に計測用の機器を用意する予定はございません。
- ・その他、計測についてご不明な点は、車検スタッフまでお問い合わせ下さい。